

令和元年度滋賀県総合教育会議の進め方について

「滋賀の教育大綱」【平成31年(2019年)4月～令和6年(2024年)3月】

基本目標 未来を拓く心豊かでたくましい人づくり

サブテーマ 人生100年を見据えた「共に生きる」滋賀の教育

人生100年をより豊かに生きていくためには、多様な人と交わりながら、生涯を通じて多くのことを学んでいく必要があります。その学びの成果を地域に生かしていくことで、「人と人」、「人と地域」が共に連携し、教育の充実と地域の活性化が良い循環を生み出すことを目指します。

柱1

子ども一人ひとりの個性を大切に
し、生きる力を育む

柱2

社会全体で支え合い、子どもを育
む

柱3

すべての人が学び続け、共に生
きるための生涯学習を振興する

前回の総合教育会議での主な意見

「読み解く力」について、県民のみなさんにもっと理解してもらえるように、わかりやすく伝えるための議論をすべき
外国籍の児童・生徒の増加への対応策について議論すべき ほか

今年度の議論の方向性

滋賀の教育大綱のサブテーマである「人生100年を見据えた『共に生きる』滋賀の教育」の実現に向けて、昨年度の会議で出た意見や社会的課題、SDGsの視点等を踏まえ、重点的に取り組むべき施策について議論を行う。

第1回 「読み解く力」について

(5/30)

➡ 昨年度第5回会議での議論を踏まえ、「読み解く力」を県民のみなさんによりわかりやすく伝えられるように整理し、これからの「読み解く力」の育成を図るための取組について考える。



第2回 外国人の子どもへの支援について

()

➡ 「改正出入国管理及び難民認定法」の施行を受けて、将来的にますます外国人の子どもが増加すると見込まれることを踏まえ、地域を交えた教育支援に加え、地域全体での外国文化・生活習慣の理解について考える。



第5回

人生100年の学びと地域との連携について

➡ だれもが主体的に学び続けることができるよう、大学等地域との連携による学習機会の充実と、学びの成果を地域や学校教育に生かすための取組について考える。



学校における働き方改革について

➡ 中央教育審議会の答申を受けて、地方公共団体、家庭、地域等すべての関係者が課題意識に基づいて取り組む「学校における働き方改革」について考える。



教育と地域・福祉との連携について

➡ いじめや虐待といった困難に直面している子どもたちを誰一人取り残さないよう、学校を取り巻く課題に対する地域・福祉と連携した取組について考える。



令和元年度滋賀県総合教育会議の総括について

➡ 1年間の総合教育会議の総括と、次年度に向けての意見交換を行う。

随時 子どもの命や身体に被害が生じるおそれがあると見込まれる場合など、緊急に措置が必要な場合に随時開催